

アデレードで暮らす気分を味わえる宿

選りすぐりの

サイドビジネス。パートメントとB&B

暮らしやすさを追求した都市計画が進められている街だからこそ、宿泊施設は暮らす気分を体験できる場所を選びたい。ロケーションはどこに行くにも便利なシティ内にするか、落ち着いた高級住宅地だがレストランやカフェも充実しているノースアデレードにするか迷うところだ。

オーナー家族とひとつ屋根の下で過ごすペンションのようなB&Bではなく、チェックイン時に玄関の鍵が渡され「あとは自由」、というレントハウスのようなB&B。心あたらない接客というものは無いのだが、それでもここには最高のもてなしが存在する。

それは、アンティークの家具と調度品に埋め尽くされた部屋そのものだ。そしてこのため息がでるような部屋が、自分の家であると錯覚できるようなことがある。部屋にあるすべてのものをうっとり眺め、そしてそれを生活の道具として使い、「よい物に囲まれて過ごす」と心が豊かになる」とは本音だ」と数日間の滞在で実感してしまった。後で聞いた話だが、ここにあるのは60万円のソファテーブル、80万円の食器棚、100万円の絵画……といった具合で、それはそれは高級品ばかりである。オーナーのロドニー氏は元アンティークディーラーであり、それぞれの品を取り合わせるセンスも抜群だ。

古きよきものを愛するロドニー氏は妻のレジーナさんと共に文化遺産に指定されている教会などの建

ここに泊まるためにアデレードに来たいと思う ファイヤー・ステーション・イン (ノースアデレード・ヘリテージグループ)



「ペントハウス・レジデンス」のダイニング。左にキッチンがあり、奥がリビング。2組の夫婦で借りればかなりお得だ。掃除とベッドメイキング、朝食の食材補充のために毎日スタッフが来てくれるのも楽ちん。



ロドニー氏の事業は取り壊すことが禁止された歴史的建造物を、生き活きと保存させるよい方法だ。宿泊した人にも文化遺産保護への興味が生まれる。

物を購入し、B&Bとして生まれ変わらせる事業を1989年にはじめた。現在、21家屋の宿泊施設がノースアデレードに点在している。

なかでもっともユニークな建物がある。1866年建造の消防署である。私が泊まり感服したのは2階全部を占領できる「ペントハウス・レジデンス」

どちらの部屋を選ぼうともここに滞在するという経験自体が、それだけでアデレードに来る価値になる。

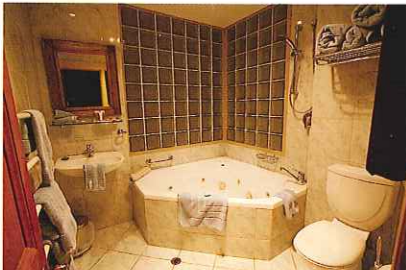
と名付けられた部屋であるが、そのほか1階にふたつのスイートがある。そのひとつにはなんと消防車が丸ごと一台、室内に飾られている。それも第二次世界大戦時に、アメリカからオーストラリアに贈られた4台のうちひとつというレアものだ。消防車といっしょに眠れる部屋は、世界広しとはいえここだけではないだろうか。



キッチンには、パンやフルーツ、シリアル、バター、ジャム、牛乳、ジュース、コーヒー、紅茶などが用意されている。アイランドカウンターには電気式キッチンヒーターが付いているなど、建物と家具は古い設備は最新で使いやすい。



ふたつあるベッドルームのうちのひとつ。窓の外は広いサンデッキになっていて、テーブルと椅子が置かれている。



大人ふたりが足を伸ばしてもまだゆとりあるキングサイズのバスはジャグジー付き。

ファイヤー・ステーション・イン Fire Station Inn

【所在地】80 Tynte St., North Adelaide
【TEL/FAX】08-8272-1355
【URL】<http://www.adelaideheritage.com/>
■ロケーション: レストランが並ぶオコナー・ストリートまで50m。シティからはタクシーで5分、歩いて20分

- ここをチェック!
- 部屋の広さ: 「ペントハウス・レジデンス」約120㎡、「ファイヤー・エンジン・ルーム」約60㎡
 - キッチン設備: 冷凍冷蔵庫、電子レンジ、コーヒーメーカー、トースター、電気ポット、食器、調理器具、食器洗浄機など
 - 室内設備: クイーンサイズベッド(「ペントハウス・レジデンス」はダブルベッドの部屋がもうひとつある)、フルバス、ジャグジー、ヘアドライヤー、エアコン、テレビ、DVD、洗濯乾燥機、アイロンなど
 - インターネット接続: ダイアルアップ
 - メイドサービス: 1日1回、無料
 - 客室料金: 「ペントハウス・レジデンス」396ドル〜、「ファイヤー・エンジン・ルーム」295ドル〜

消防車が置かれた部屋「ファイヤー・エンジン・ルーム」のなかにあるのは、昔の消火器にハシゴ、消防署のライト、70年代の消防服などなど。ロドニー氏は決して消防マニアではない。アンティークなものをすべてを愛しているのだ。

